

建屋周辺の地下水位、汚染水発生状況

2025年 3月27日

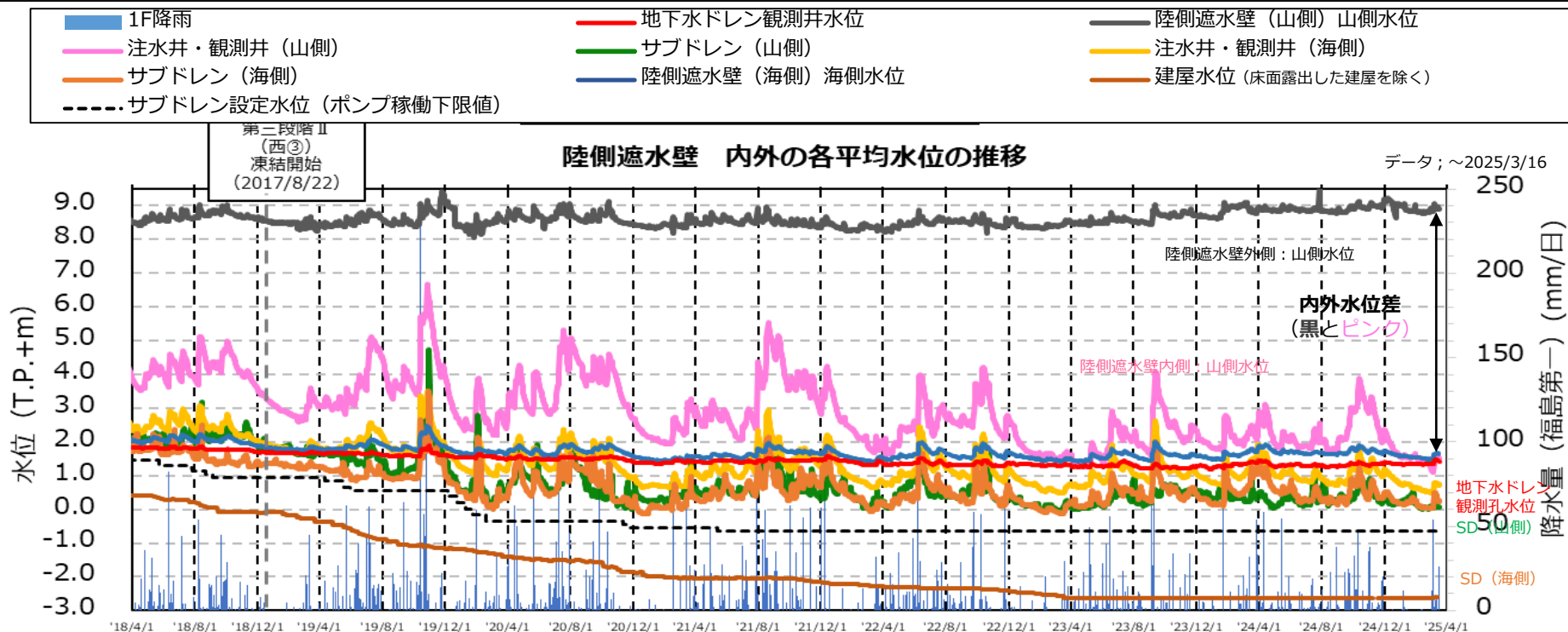
TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 建屋周辺の地下水位、サブドレン等のくみ上げ量について	P2～3
2. 汚染水発生量について	P4
参考 1 地中温度分布について	P5～14
参考 2 地下水位・水頭の状況について	P15～21

1-1. 建屋周辺の地下水位の状況

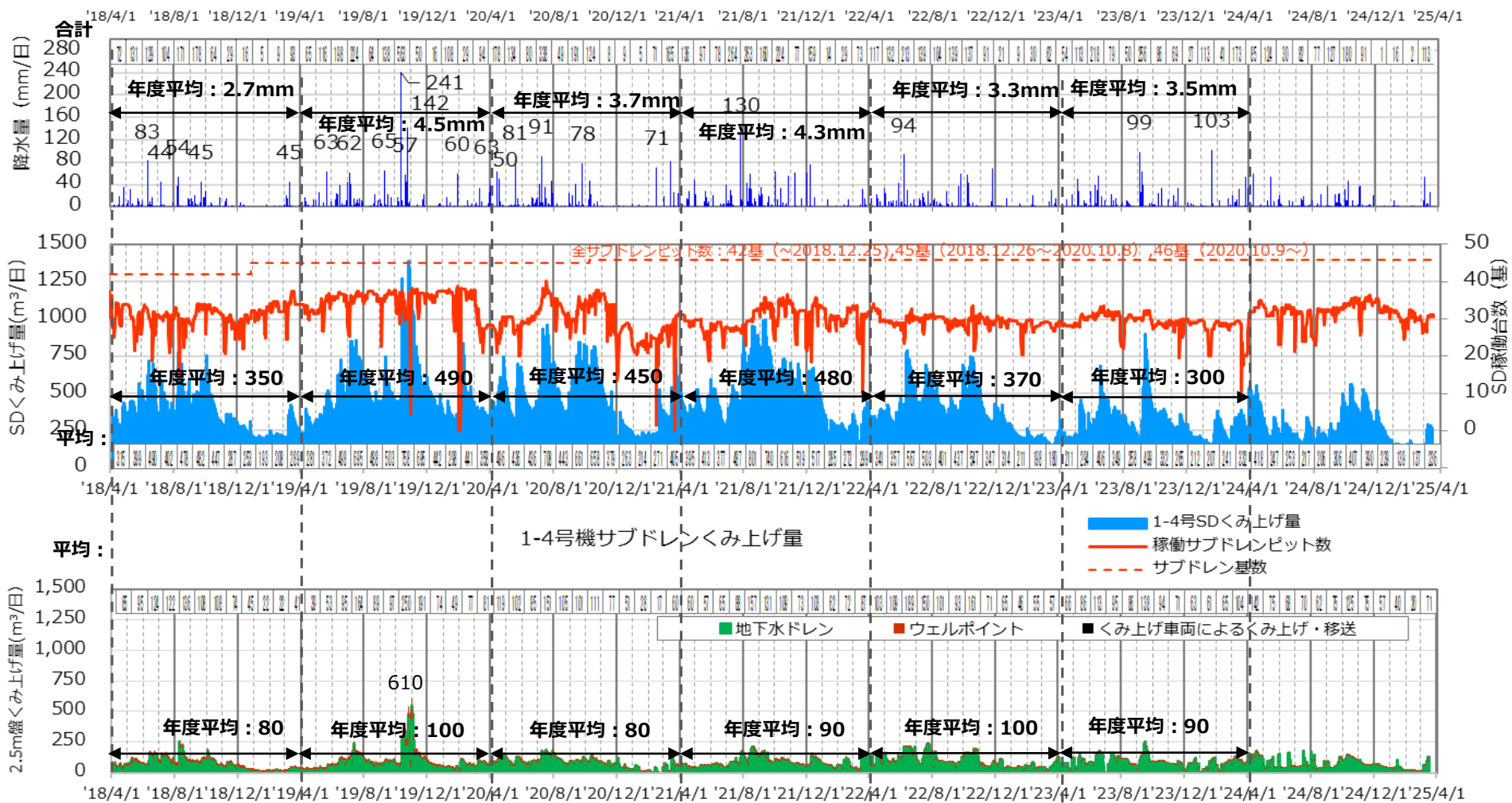
- 陸側遮水壁内側エリアの地下水位は山側では降雨による変動があるものの、内外水位差は確保した状態が維持されている。
- 地下水ドレン観測井水位は約T.P.+1.4mであり、地表面から十分に下回っている（地表面高さ T.P.+2.5m）。



データ；～2025/3/12

1-2. サブドレン・護岸エリアのくみ上げ量の推移

- 1-4号機サブドレンは、降水量に応じて、くみ上げ量が変動している状況である。
- T.P.+2.5m盤くみ上げ量は、T.P.+2.5m盤エリアのフェーシングが完了しており、安定的なくみ上げ量で推移している状況である。



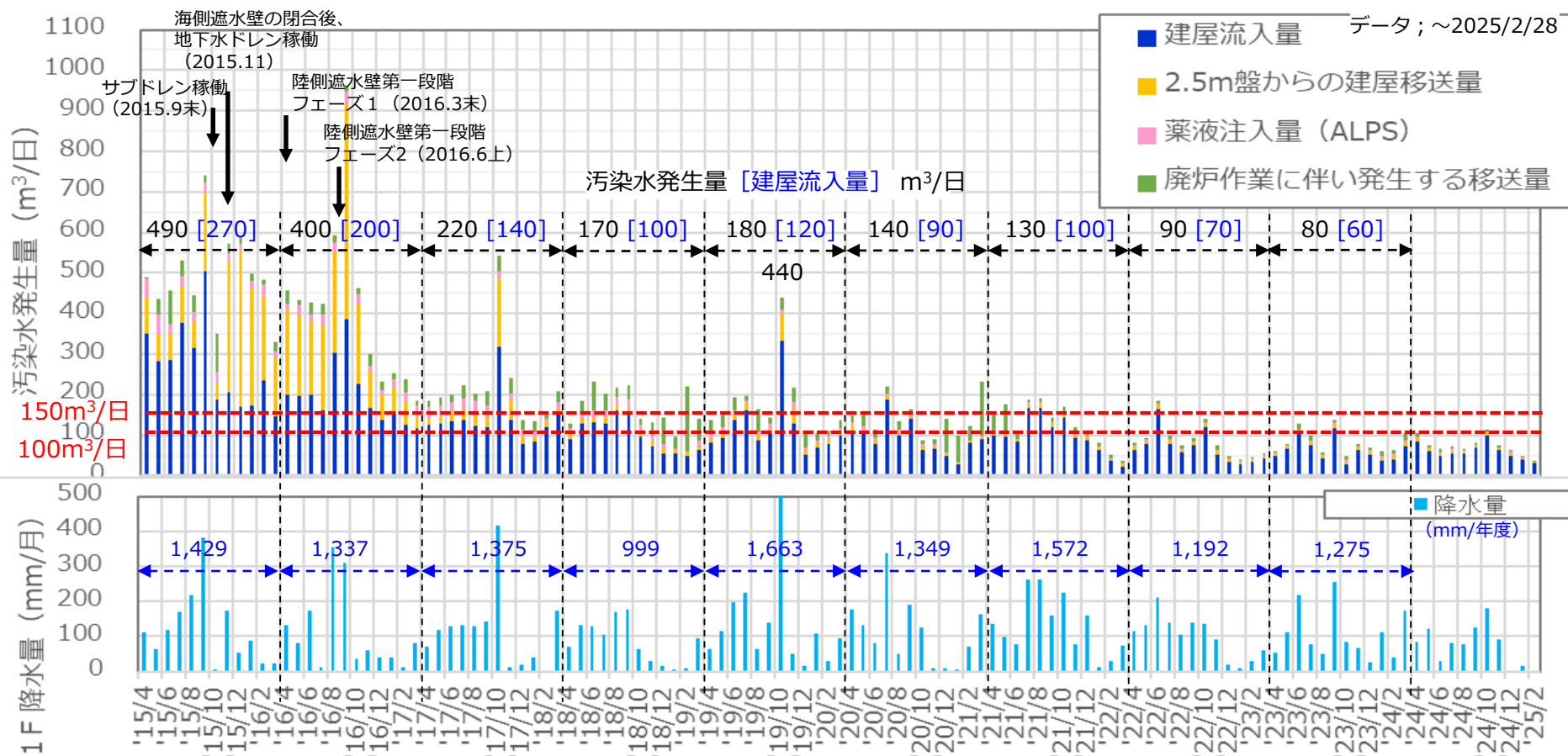
T.P.+2.5m盤くみ上げ量 (ウェルポイント・地下水ドレン・くみ上げ車両)

※平均値は、降水量を除き10m³単位で四捨五入

データ；2025/3/16

2. 汚染水発生量の推移

- 2023年度は、フェーシング等の対策の効果により、建屋流入量が2022年度と比較して抑制されており、汚染水発生量は約80m³/日と既往最小となった。降水量は1,275mm であり、平年雨量約1,470mmと比較すると約200mm少ない。平年雨量相当だったとしても、汚染水発生量は約90m³/日程度と評価される。
 - 2024年度は、降雨による建屋流入量の増加に伴い、汚染水発生量は一時的に100m³/日を上回るときが確認されたが、11月以降は降雨量の減少とともに、建屋流入量及び汚染水発生量は100m³/日以下となっている。
- 2024年度の汚染水発生量については、データを取り纏め、次回に報告する。



注) 2017.1までの汚染水発生量(貯蔵量増加量)は、建屋滞留水増減量(集中ラド含む)と各タンク貯蔵増減量より算出しており、気温変動の影響が大きいため、2017.2以降は上表の凡例に示す発生量の内訳を積み上げて算出する方法に見直している。よって、2017.1までの発生量の内訳は参考値である。

【参考 1】地中温度分布

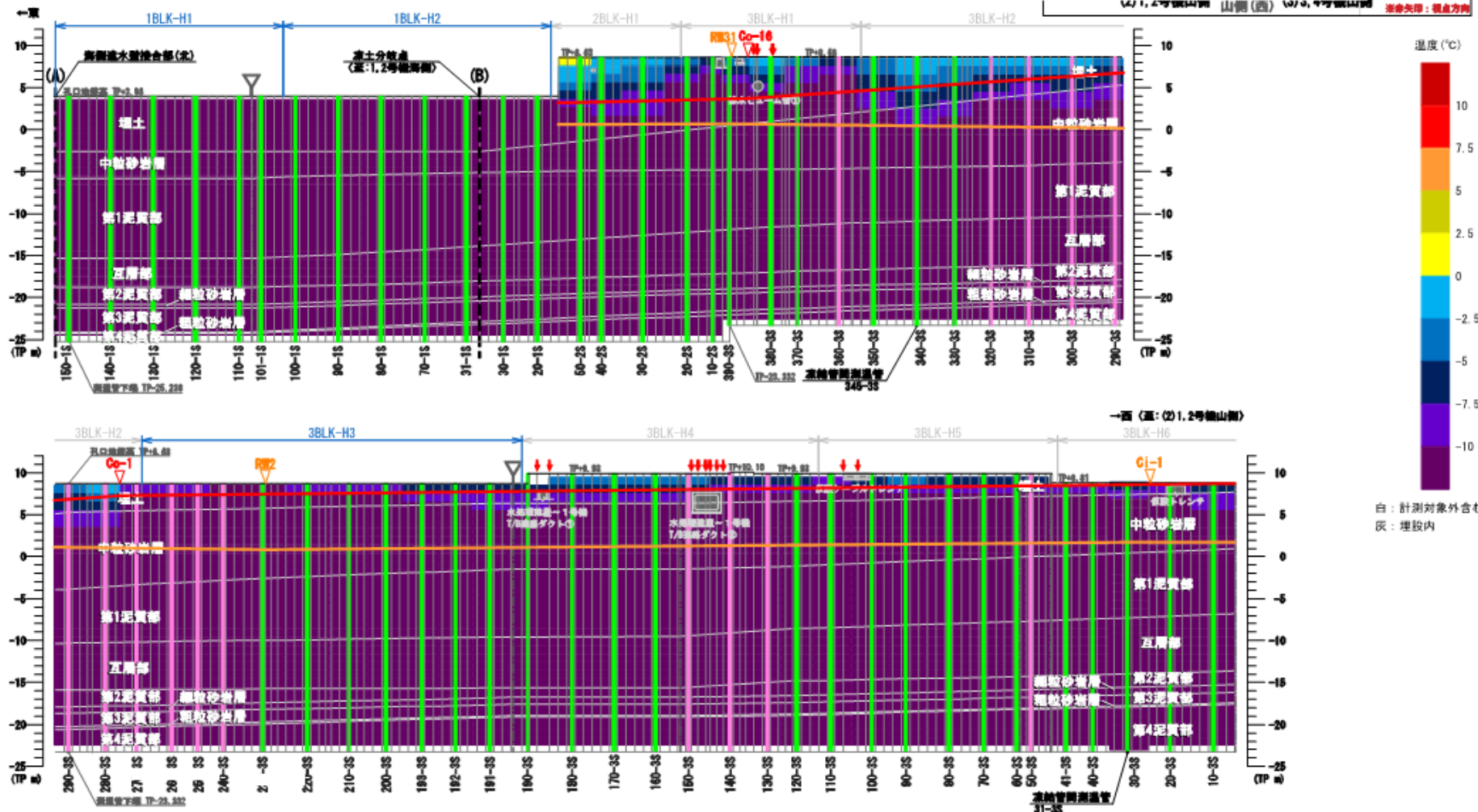
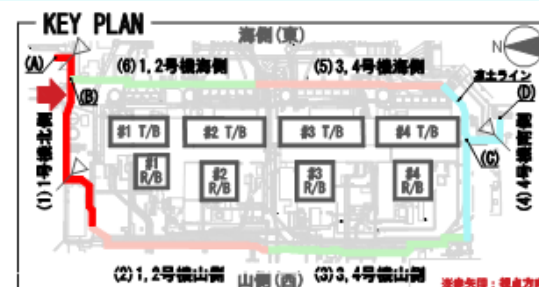
■ 地中温度分布図

(1) 1号機北側（北側から望む）

（温度は3/11 7:00時点のデータ）

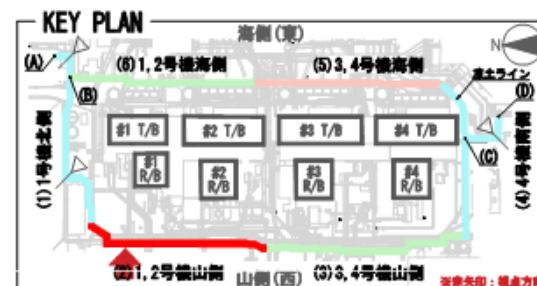
凡 例

- 測温管（凍土ライン外側）
- 測温管（凍土ライン内側）
- 掘削部凍結管
- 凍土壁外側水位
- 凍土壁内側水位
- △ R/R（リチャージウェル）
- △ OI（中粒砂岩層・内側）
- △ Oo（中粒砂岩層・外側）
- ▽ 凍土折れ点
- ↔ プライン設置範囲
- ↔ プライン停止範囲



(温度は3/11 7:00時点のデータ)

 : 測温管 (凍土ライン外側)  : 隙 (リッチャージュエル)
 : 測温管 (凍土ライン内側)  : G1 (中粒砂岩層・内側)
 : 流注部凍結管  : G0 (中粒砂岩層・外側)
 : 凍土壁外側水位  : 凍土折れ点
 : 凍土壁内側水位  : ブライン検索範囲
 : ブライン停止範囲

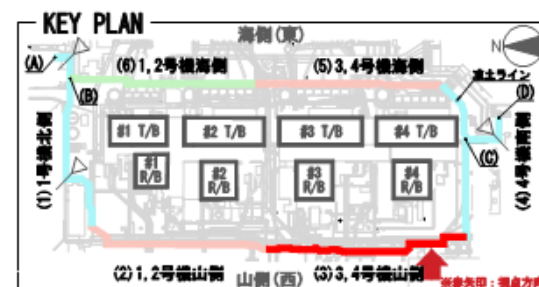
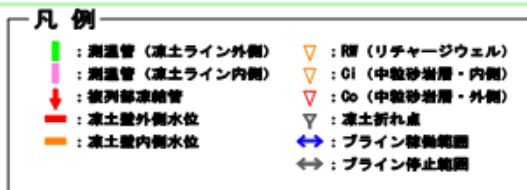


白：計測対象外含む
灰：埋設内

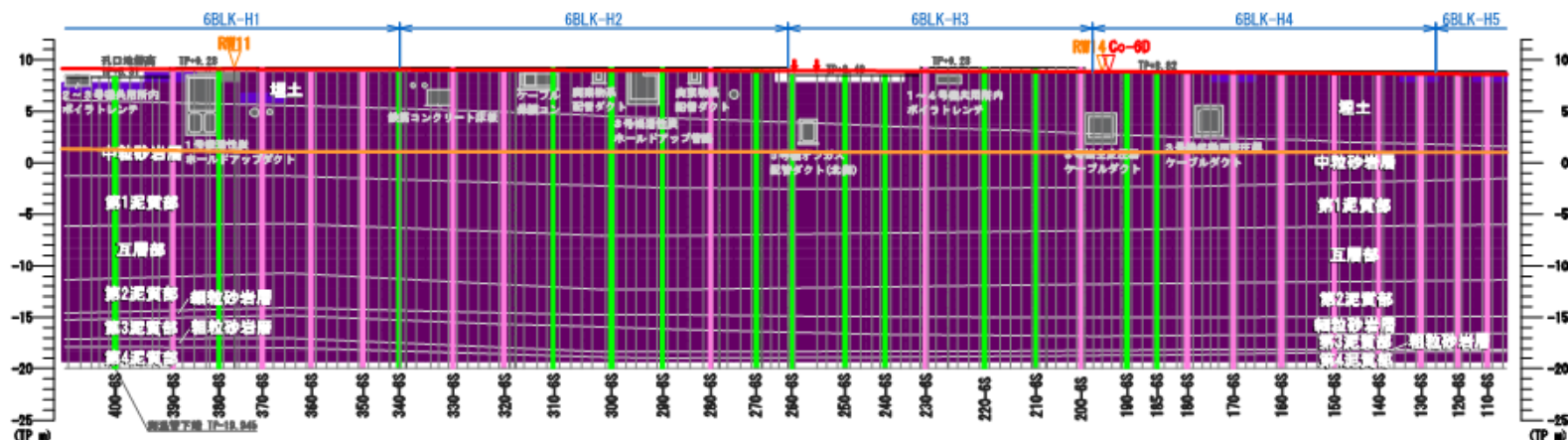
■ 地中温度分布図

(3) 3, 4号機山側（西側から望む）

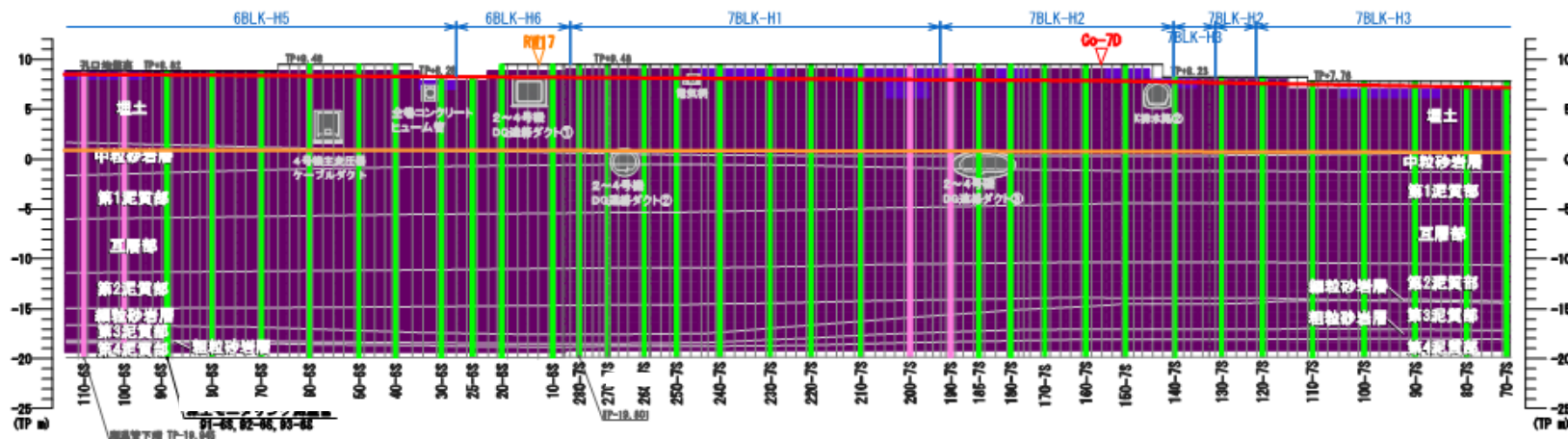
（温度は3/11 7:00時点のデータ）



←北（基：(2)1, 2号機山側）



→南（基：(4)4号機南側）



白：計測対象外含む
灰：埋設内

【参考 1-4】 地中温度分布図（4号機南側）

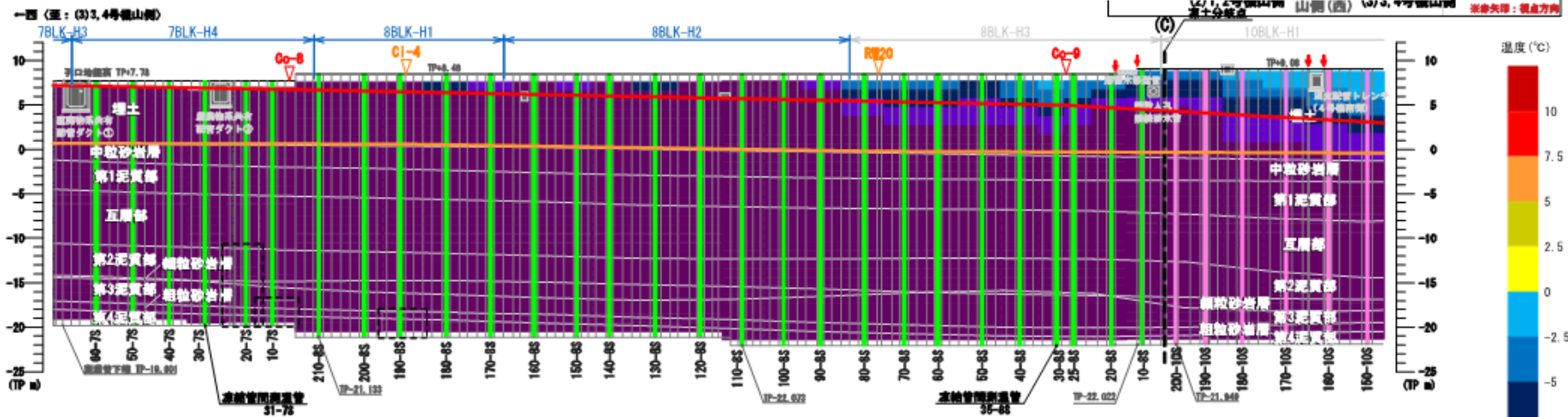
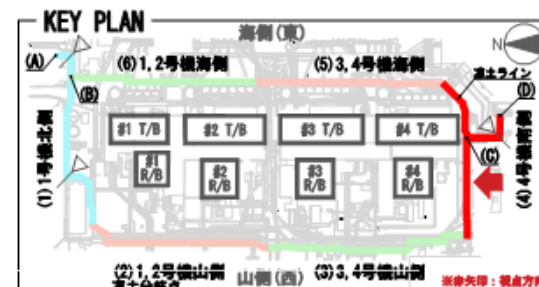
■ 地中温度分布図

(4) 4号機南側（南側から望む）

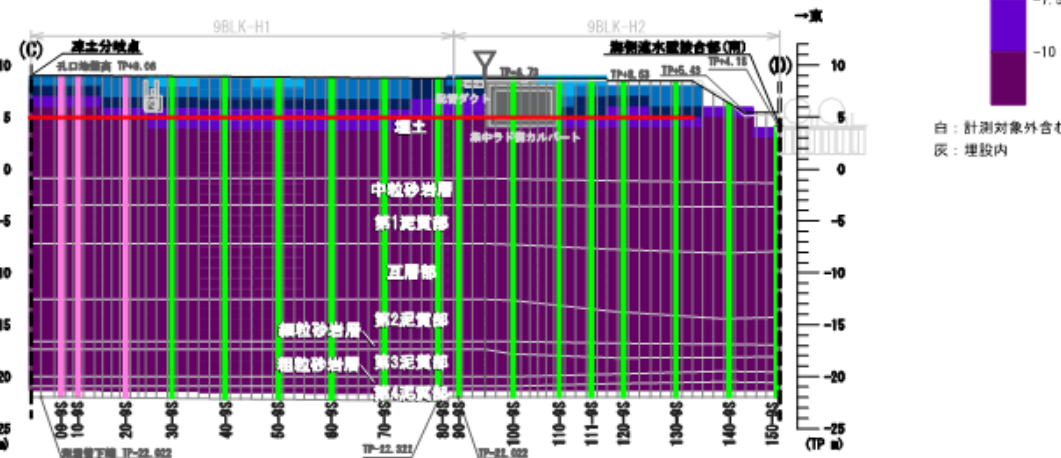
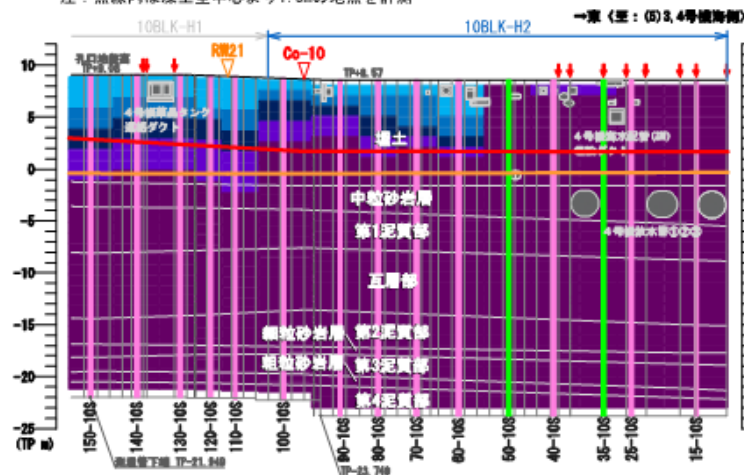
（温度は3/11 7:00時点のデータ）

凡 例

- 測温管（凍土ライン外側）
- 測温管（凍土ライン内側）
- 複列部凍結管
- 凍土壁外側水位
- 凍土壁内側水位
- △ R/R（リチャージウェル）
- △ OI（中粒砂岩層・内側）
- △ Co（中粒砂岩層・外側）
- ▽ 凍土折れ点
- ↔ プライン接続範囲
- ↔ プライン停止範囲



注：点線内は凍土壁中心より1.3mの地点を計測

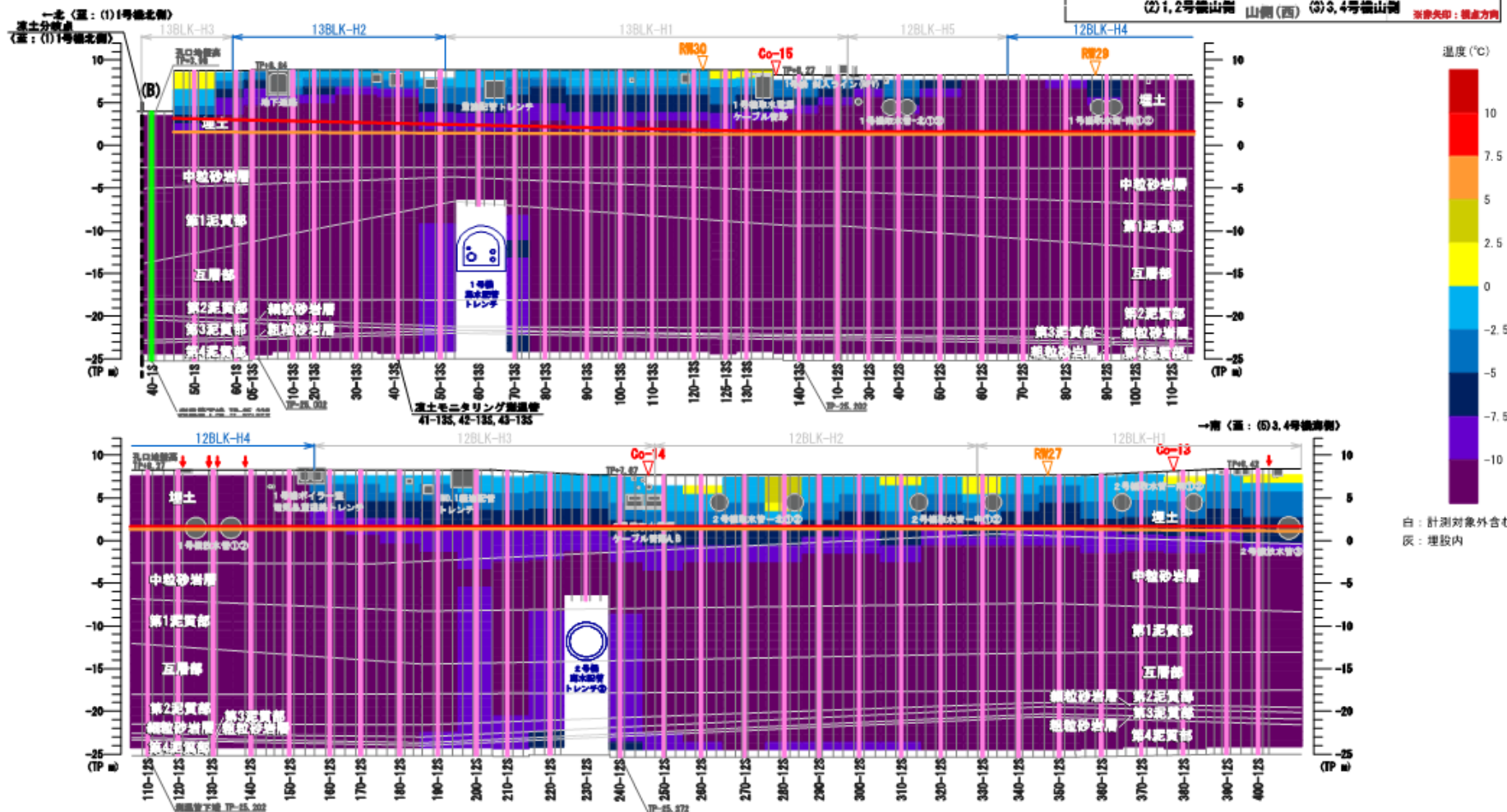
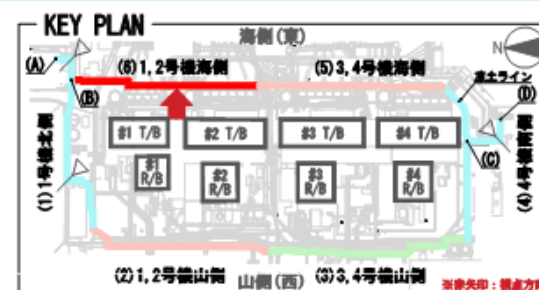
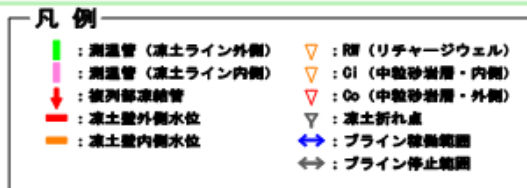


白：計測対象外含む
灰：埋設内

■ 地中温度分布図

(6) 1,2号機海側（西側：内側から望む）

（温度は3/11 7:00時点のデータ）

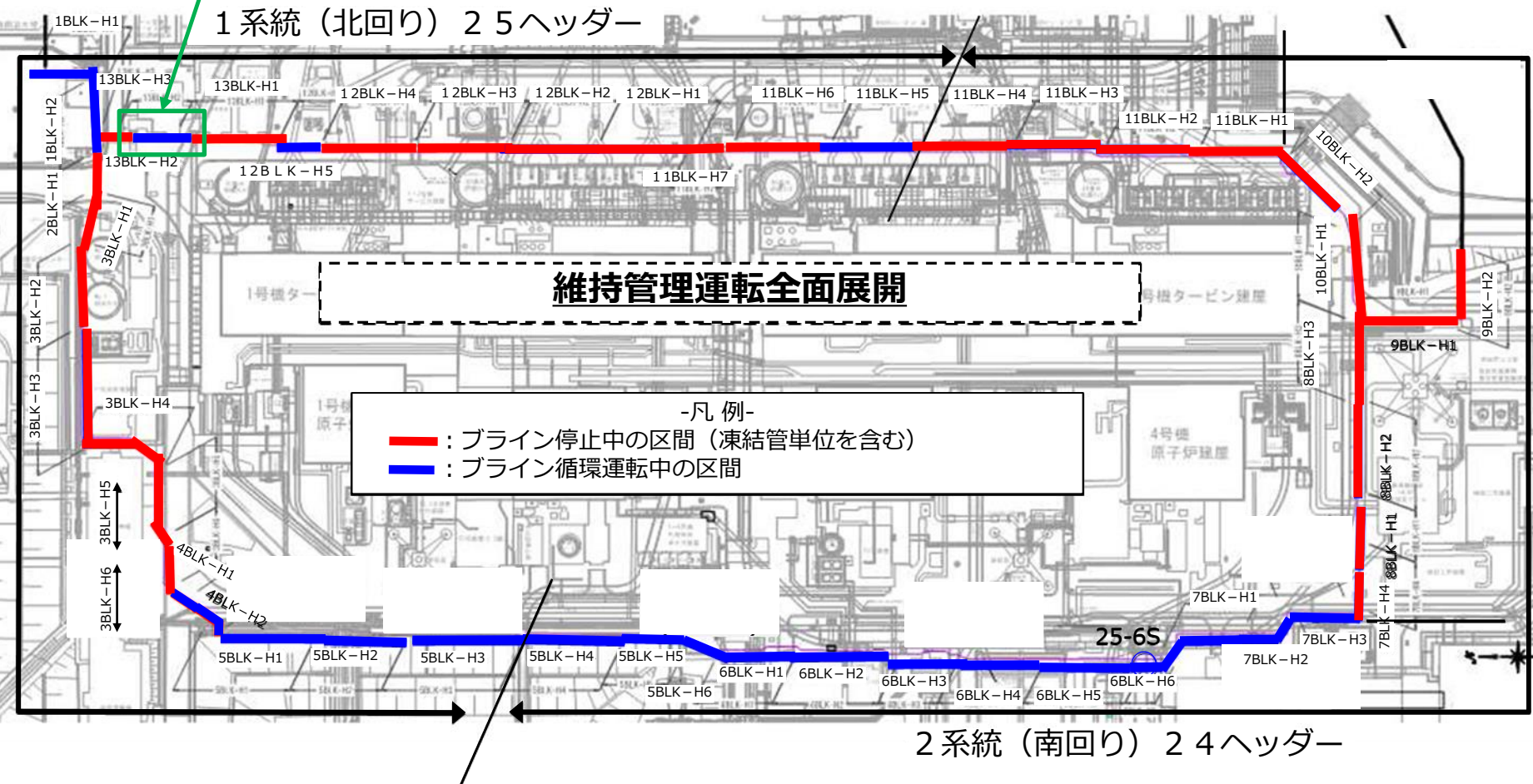


【参考 1-7】 維持管理運転の状況 (3/11時点)

- 維持管理運転対象全49ヘッダー管（北回り 1 系統25ヘッダー、南回り 2 系統24ヘッダー）のうち27ヘッダー管（北側8, 東側10, 南側4, 西側15）にてブライン停止中。

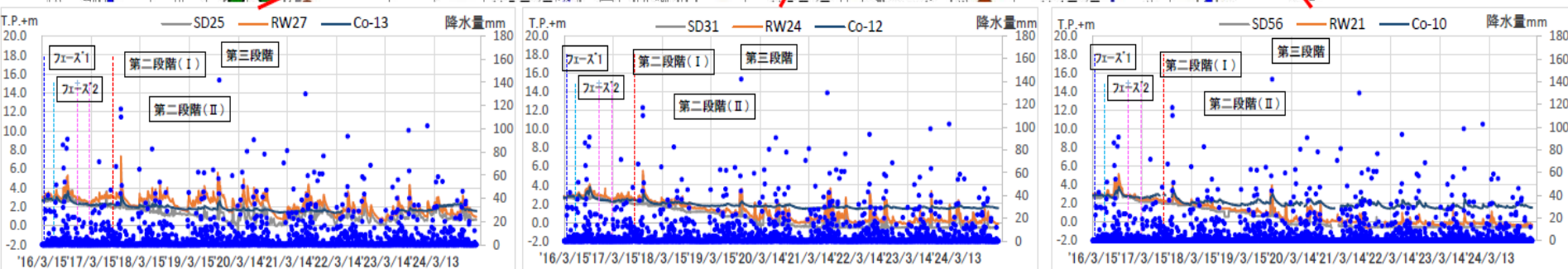
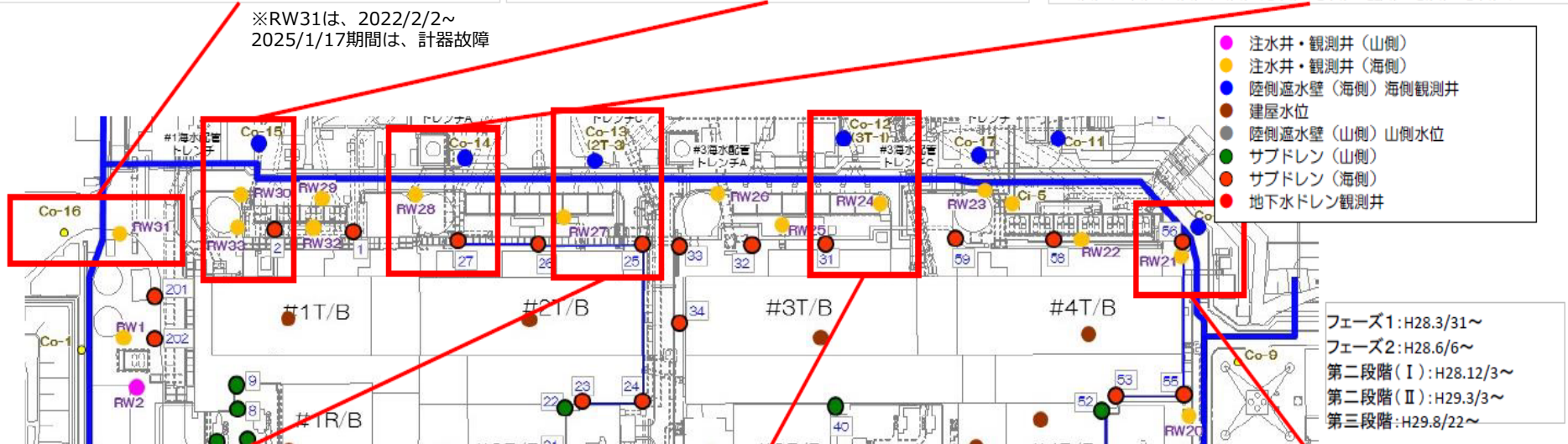
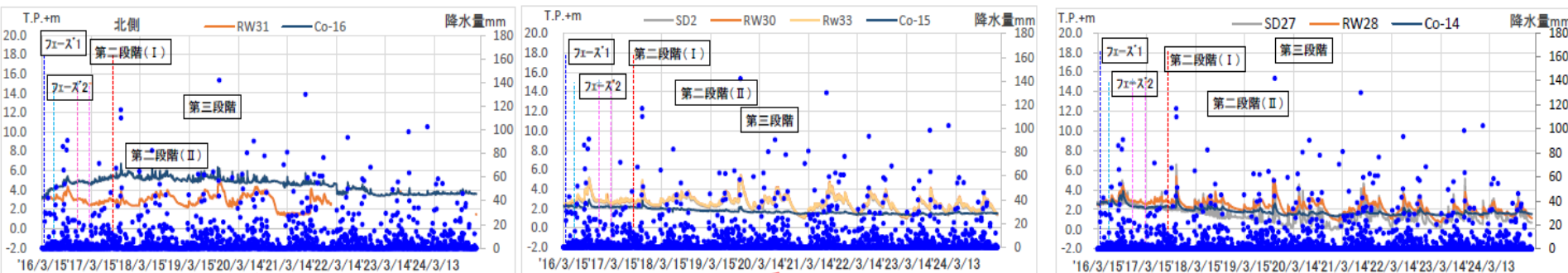
13BLK-H2 : 間引き運転併用 (2025.1.10~)

1 系統 (北回り) 25 ヘッダー



【参考 2】 地下水位・水頭の状況について

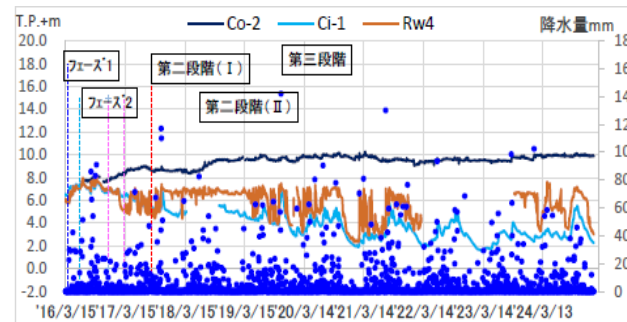
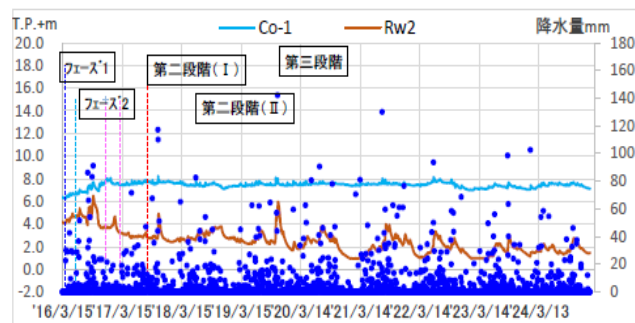
【参考2-1】地下水位・水頭状況（中粒砂岩層 海側）



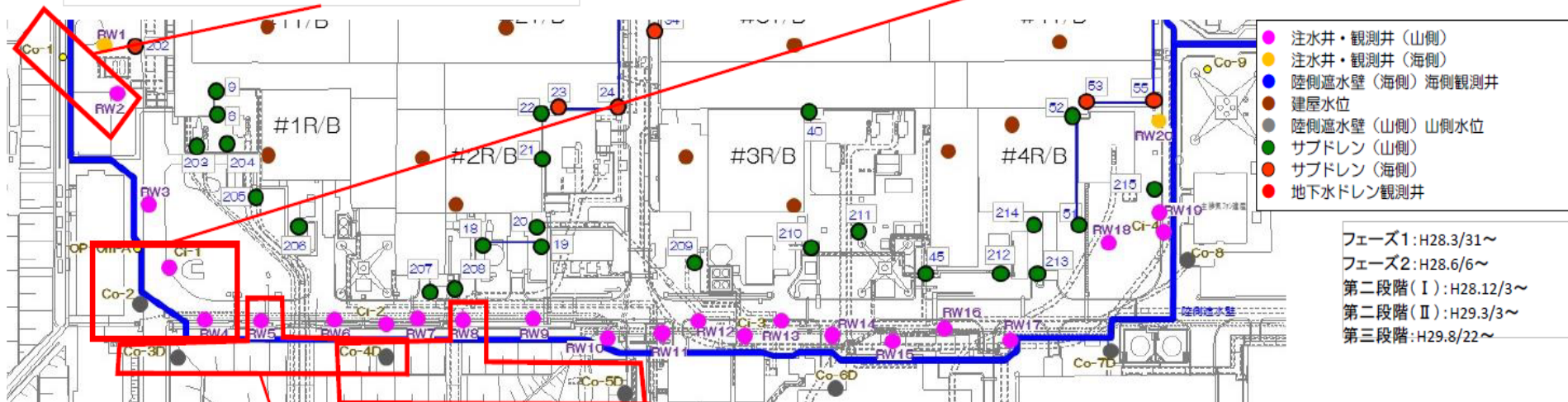
※Co-13は、2022/4/25～2023/6/26の期間は、計器故障

データ ; ～2025/3/15

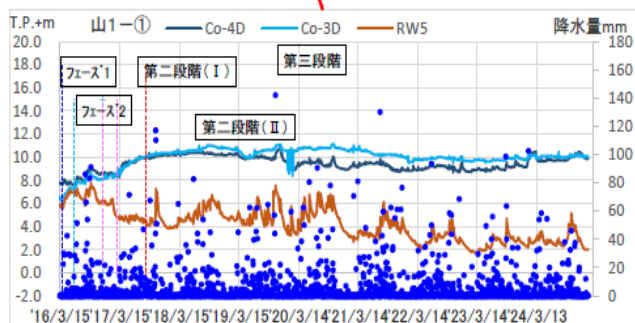
【参考2-2】地下水位・水頭状況（中粒砂岩層 山側①）



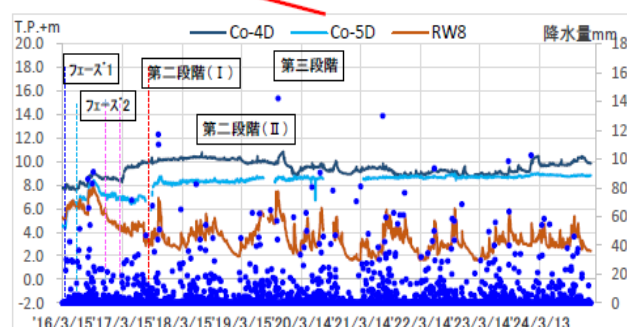
※RW4は、2023/3/29～2023/9/20
の期間は計器故障
2025/2/3～ 水位計設置位置変更
により欠測



フェーズ1:H28.3/31～
フェーズ2:H28.6/6～
第二段階(Ⅰ):H28.12/3～
第二段階(Ⅱ):H29.3/3～
第三段階:H29.8/22～

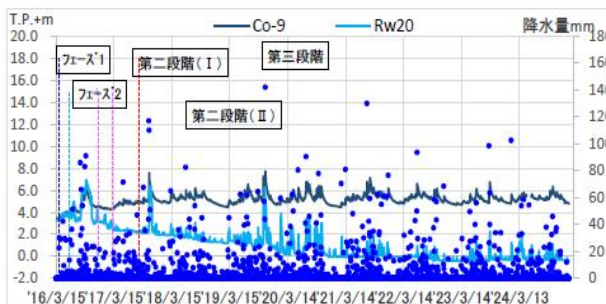


※RW5は、2025/1/4～ 水位計設置位置変更により欠測



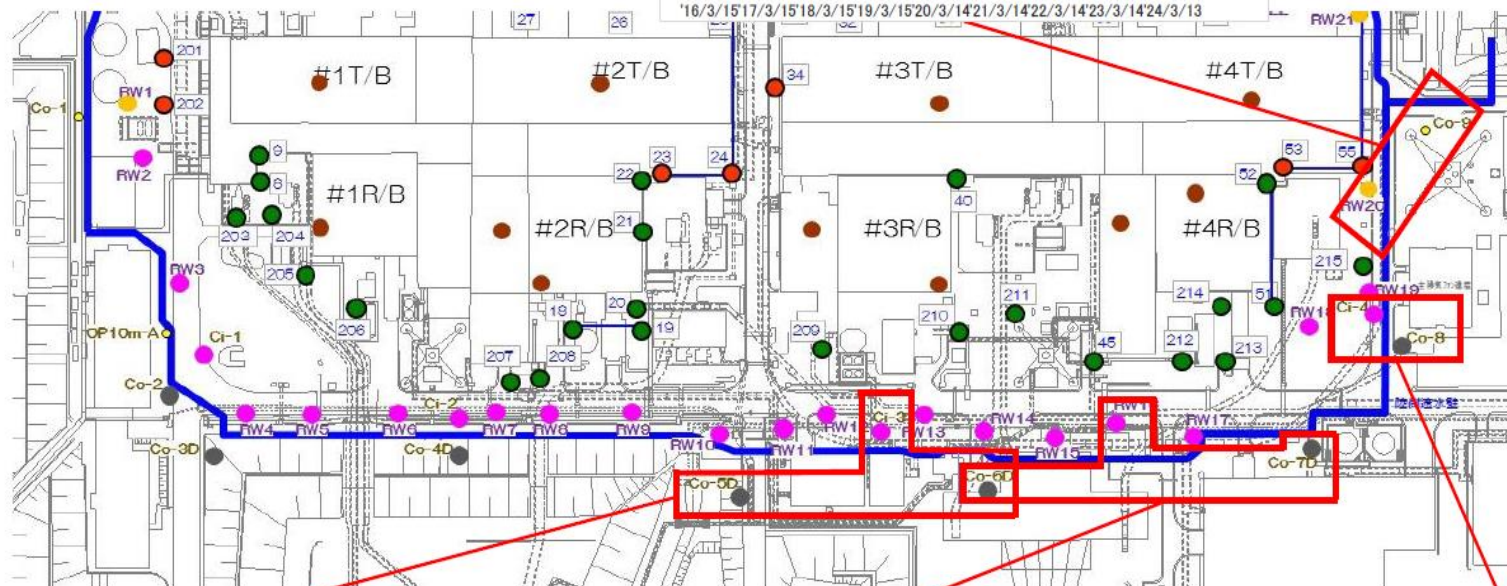
データ ; ～2025/3/15

【参考2-3】地下水位・水頭状況（中粒砂岩層 山側②）

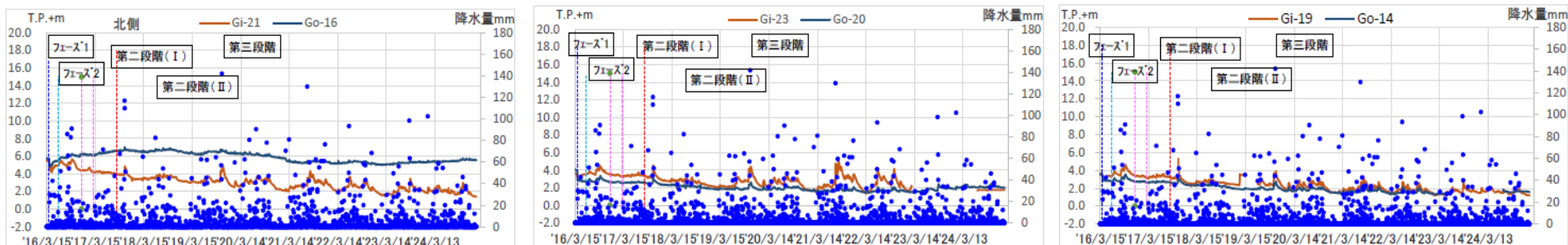


- 注水井・観測井（山側）
- 注水井・観測井（海側）
- 陸側遮水壁（海側）海側観測井
- 建屋水位
- 陸側遮水壁（山側）山側水位
- サブドレン（山側）
- サブドレン（海側）
- 地下水ドレン観測井

フェーズ1: H28.3/31~
フェーズ2: H28.6/6~
第二段階(I): H28.12/3~
第二段階(II): H29.3/3~
第三段階: H29.8/22~

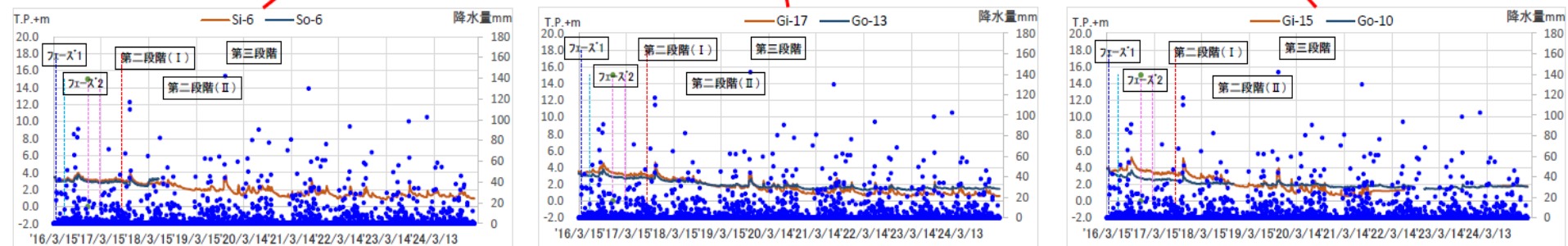


【参考2-4】地下水位・水頭状況（互層、細粒・粗粒砂岩層水頭 海側）



海側互層、細粒・粗粒砂岩のグルーピングは、非凍結箇所(各号機海水配管トレンチ下部)を除き、各号機に1箇所程度設定

- 互層観測井
- 粗粒・細粒砂岩 観測井



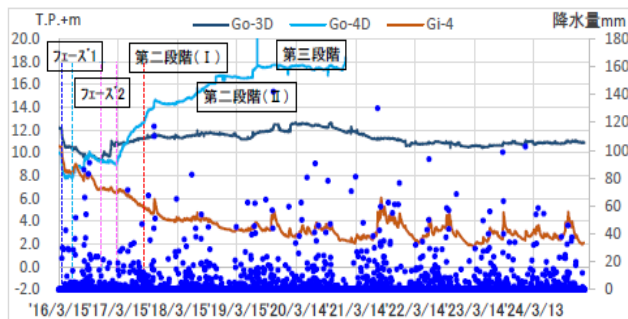
※So-6は、2018/6/1より計器故障

※Gi-15は、2022/7/4～2024/6/25期間は、計器故障

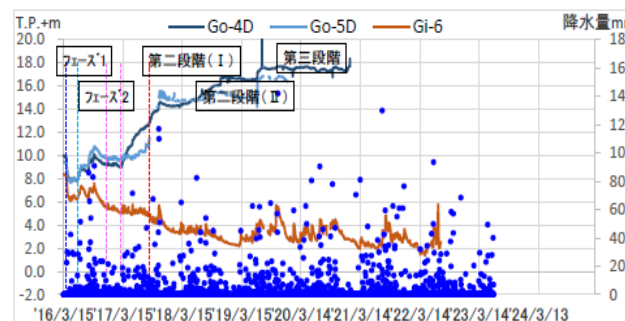
データ ; ～2025/3/15

【参考2-5】地下水位・水頭状況（互層、細粒・粗粒砂岩層水頭 山側）

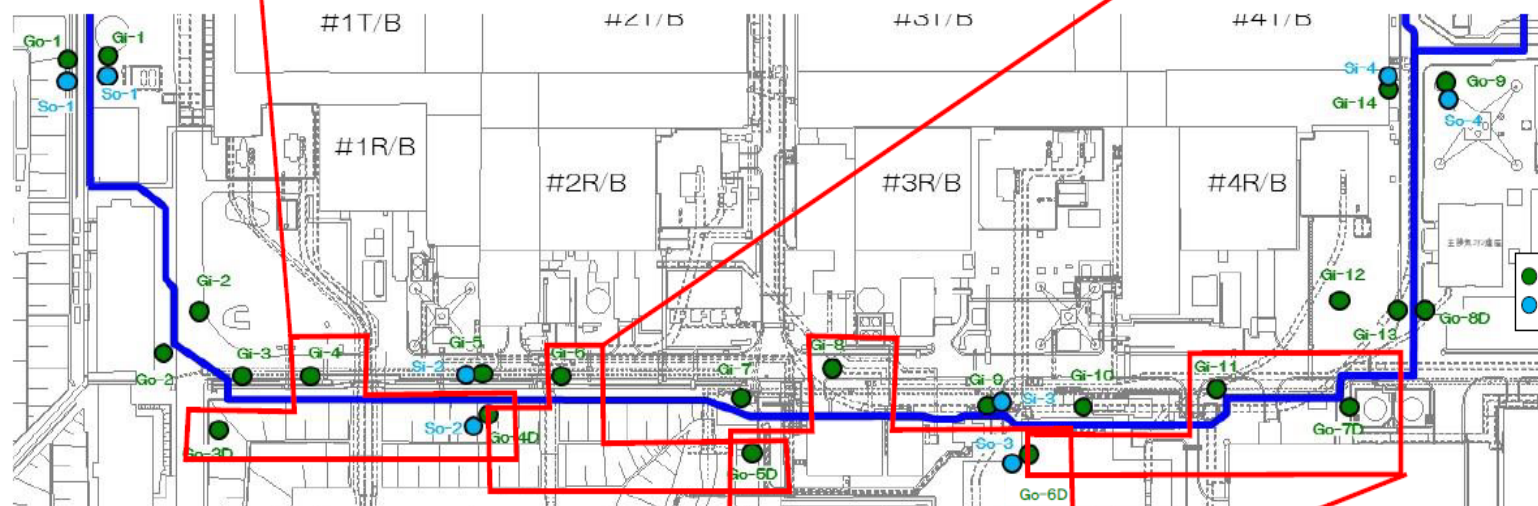
※Go-4Dは、2021/1/11より計器故障



※Go-4Dは、2021/1/11より計器故障

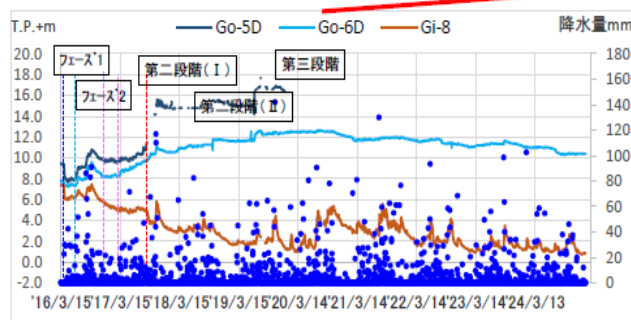


※Gi-6は、2022/7/25より計器故障

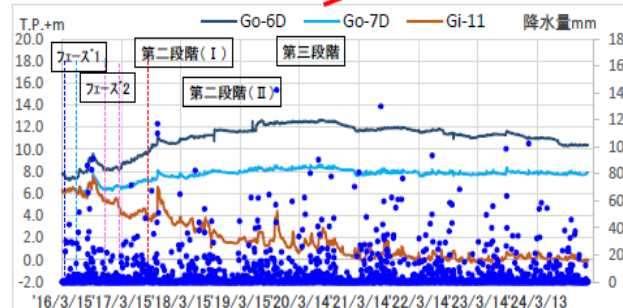


● 互層観測井
● 粗粒・細粒砂岩 観測井

フェーズ1: H28.3/31~
フェーズ2: H28.6/6~
第二段階(Ⅰ): H28.12/3~
第二段階(Ⅱ): H29.3/3~
第三段階: H29.8/22~



※Go-5Dは、2019/12/16より計器故障



データ ; ~2024/3/15

【参考2-6】サブドレン・注水井・地下水水位観測井位置図

